

『魂の考古学 —豆谷和之さん著作 追悼文編—』



刊行：2015年10月18日

頒価：3,000円

体裁：B5版、口絵19ページ、本文590ページ

発行：豆谷和之さん追悼事業会

申込：E-mail / yamato_yayoikai@yahoo.co.jp

FAX / 0743-66-3830 (埋蔵文化財天理教調査団)

※共に氏名、送付先、送付先電話番号、申込冊数を明記の上、池田保信あてにお送りください(送料は一括での申込みが安くなります)。 ※FAXの場合、E-mailを記載して下さい。

送料：レターパックプラス(510円)を利用。それ以上は宅配便で、送付時に料金明細を同封します。

問合：0743-67-1626 池田保信(埋蔵文化財天理教調査団)

HP：http://www.yayoi.sakuraweb.com/

目 次

刊行にあたって	豆谷和之さん追悼事業会	
豆谷君との別れ	近藤喬一	
著 作		1
第I部 前期弥生土器論		
前期弥生土器考/「長方形区画文を持つ浅鉢」について/近畿前期弥生土器成立論(上)/近畿前期弥生土器成立論(下)/弥生壺成立以前一馬見塚F地点型壺形土器について/糞置式土器について/前期弥生土器出現/「少条凹線条痕深鉢」について/「文化変容」と「文化伝播」/遠賀川式土器の成立/大和的凸帯文/眼鏡状浮文から指づくね貼付凸帯へ/大和における最終末の凸帯文土器/前期弥生土器から見た晩期後半縄文土器の終末—素描風に—/馬見塚F地点型壺形土器の再考/水走遺跡第8次調査におけるCピット貝塚(第28-2層)の土器群—その—括性を検討する—/近畿前期弥生土器再編/西日本における遠賀川系土器の成立と西からの影響		
第II部 唐古・鍵遺跡と弥生社会		233
内傾口縁土器について—弥生時代中期における大和と尾張の物流—/奈良盆地 唐古・鍵遺跡/弥生環濠論—唐古・鍵遺跡から見た場合—/弥生の風景/唐古・鍵遺跡第74次調査—大型掘立柱建物の検出—/唐古・鍵遺跡の大型建物/「宮室」異論/大和地域における墓制および墓制研究の実態と課題/方形周溝墓の完形土器—奈良県矢部南遺跡における出土状態の検討—/大和の弥生時代遺跡/大和の弥生時代遺跡2/縄文/弥生移行期の近畿社会/大規模集落の成立と展開/近畿		
コラム		433
倭国大乱/魂の図面/懺悔/秋(とき)/出原恵三論文「四国における遠賀川式土器の成立」へのコメント/家根先生ありがとうございました/法貴寺で発見された中世の館跡/「おいしい水」を飲む工夫		
唐古・鍵遺跡/不老不死の薬~唐古・鍵遺跡~/赤色が多用された弥生時代の唐古・鍵集落/縄文人と弥生人—凸帯文土器—/ワンワン土器—犬が噛んだ弥生土器—/『心の灯 考古学への情熱』/泉ゼミ生		
「凸」帯文の心構え/馬見塚遺跡と私		
追悼文	(67名)	457
赤澤徳明・荒木幸治・有本雅己・有本昭子・安藤広道・池田保信・石井智大・泉拓良・市村慎太郎		
伊藤圭・伊藤淳史・上垣幸徳・岡田憲一・奥義次・川上洋一・河野一隆・川部浩司・北野隆亮		
國下多美樹・桑原久男・小林善也・近藤喬一・櫻井拓馬・佐藤亜聖・佐藤嘉広・設楽博己・柴田将幹		
柴田昌児・清水琢哉・菅榮太郎・田嶋正憲・田中晋作・田畑直彦・田村昌宏・田村陽一・塚田良道		
露口真広・出原恵三・永井宏幸・中尾智行・中川寧・中沢道彦・永見秀徳・中村利至久・中村豊		
西野浩二・濱田延充・肥後弘幸・久山高史・廣瀬克彦・深川義之・藤井整・古谷毅・穂積裕昌・前澤郁浩		
増田啓・松本岩雄・宮地聡一郎・森岡秀人・安永周平・柳澤一宏・山崎敏昭・山本亮・吉井秀夫・吉田広		
吉松高敏・若林邦彦		
著作一覧		563
豆坊の教え		577
年 譜		581
お礼のこたば	豆谷典子	589
編集後記		590